

【生徒】令和6年度学校評価アンケート結果＜令和5年度との比較＞

・実施期間

令和6年12月6日（金）～12月13日（金）

※A：あてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

令和6年度	令和5年度
◆全体回答者数・回答率 20名・68%	◆全体回答者数・回答率 21名・78%
1 学校生活は、充実し、他の生徒と良好な関係を築いている。 A：11 B：8 C：1 D：0	A：13 B：7 C：1 D：0
2 教職員は、生徒に対し必要な情報を適切に提供し、学校内で守るべきルールをわかりやすく指導している。 A：15 B：4 C：1 D：0	A：15 B：6 C：0 D：0
3 授業は、丁寧でわかりやすく、自分のペースに合っている。 A：14 B：5 C：1 D：0	A：16 B：5 C：0 D：0
4 教材は、自分の見え方に合ったものを使うことができている。また、視覚補助具等を活用できている。 A：17 B：3 C：0 D：0	A：15 B：4 C：2 D：0
5 ICT（アイシーティー）機器（タブレット端末、パソコン、点字電子手帳等）に関する質問です。 〈中学部、高等部普通科・保健理療科の生徒の皆さんへ〉 学校では、ICT（アイシーティー）機器について、正しい使い方や操作方法について学び、授業で活用できている。 〈高等部専攻科普通科・保健理療科・理療科の生徒の皆さんへ〉 学校では、ICT（アイシーティー）機器について、操作方法や活用の仕方等を相談し、学習や生活の場面での活用が広がっている。 A：11 B：6 C：2 D：1	A：14 B：5 C：2 D：0

6 卒業後の進路について、必要な情報が提供されている。 A : 13 B : 5 C : 1 D : 1	A : 13 B : 7 C : 1 D : 0
7 日頃から、自分の考えや意見が受け止められ、尊重されている。また、学校には、互いを大切にする雰囲気がある。 A : 14 B : 4 C : 2 D : 0	A : 7 B : 12 C : 2 D : 0
8 学校で困ったことがあったり嫌な思いをしたりした時、先生に気軽に相談できている。 A : 13 B : 6 C : 1 D : 0	A : 8 B : 7 C : 5 D : 1
9 他の盲学校や地域の学校(専門学校)等の生徒と対面・オンラインで交流し、新たな学びを得られている。 A : 9 B : 7 C : 3 D : 1	A : 10 B : 8 C : 2 D : 1
10 健康診断等をとおして、自分の健康について知ることができている。 A : 13 B : 5 C : 2 D : 0	10 学校では、必要な感染症対策が行われている。また、健康診断等をとおして、自分の健康について知ることができている。 A : 14 B : 7 C : 0 D : 0
11 学校の施設設備は、視覚障害に配慮されていて、安全に使用できる。 A : 12 B : 6 C : 2 D : 0	A : 11 B : 9 C : 1 D : 0
12 学校で行われる避難訓練等により、防災への意識が高まっている。また、日頃から、防災に関する情報が伝えられている。 A : 13 B : 6 C : 0 D : 1	A : 17 B : 4 C : 0 D : 0
13 自身の学習上の課題や目標について、先生と一緒に考え、解決方法を見つけたり達成計画を立てたりすることができている。 A : 11 B : 6 C : 3 D : 0	A : 11 B : 7 C : 3 D : 0
14 意見等 ・学校生活に関する要望 ・施設設備の充実に関する要望	14 意見等 ・アンケートの選択肢に関する意見（2名）

生徒アンケートについて

Ⅰ 概要

全 13 項目のうち、次の 8 項目が概ね A または B と評価した。

- ① 学校生活（充実感・他生徒との関係）
- ② 学校生活（情報提供・ルールの指導）
- ③ 授業（わかりやすさ・ペース）
- ④ 授業（教材・補助具）
- ⑦ 人権（互いの尊重）
- ⑧ 人権（教員への相談）
- ⑩ 健康安全
- ⑪ 施設設備

特に④、⑦、⑧については前年と比較し、A 評価の割合が増すなど改善が見られた。

一方、⑤情報教育、⑨交流及び共同学習、⑬個別の教育支援計画については、C または D と評価する生徒が 3 名あり、昨年と比較し同程度の結果にとどまった。

2 今後に向けて

回答率の低かったグループには、次年度アンケート開始前と期間中の協力の呼びかけを強化し、回答率アップを目指す。

教員自身の I C T にかかる研修を積極的に推奨し、すべての教員が同程度の活用水準に至るよう目標設定をする。